

「認知症対策前進！認知症チェッカー導入されました！」

ごあいさつ

例年より早い入梅のあと、大雨が続きました。地域によっては雷が降るなど、不安定な気候の日々が続きます。みなさまもくれぐれも体調管理にはお気を付けください。

6月2日から始まった第2回定例会で、わたしのライフワークである「認知症対策」の一步前進が明確になりました。市報や一般紙でも広報された「認知症チェッカー」。認知症の簡易スクリーニングシステムの導入を訴えつづけ、やっと形となりました。

早期発見・早期診断につながる大事な取り組みです。今や社会問題ともなりつつある「認知症対策」に今後も全力で取り組んでまいります！



ホームページ/変わりました！

<http://www.sunsun-kumiko.com>

Kumichan 通信



一般質問

(一部を抜粋)

■女性のがん対策について

(質問)子宮頸がん検診に初期病変の発見率の高いHPV検査を追加することを提案する。

(市回答)他市の情報を収集しながら研究してみたい。

■認知症対策について(裏面)

■アレルギー対策について

(質問)食物アレルギーは状況により、生命の危険にもつながる恐れあり。保育園の対応はいかがか。

(市回答)アレルギー対応マニュアルは現在、作成中。

(質問)保育の質の担保や保護者の安心のために、栄養士の交流などを検討すべき。

(市回答)保護者が安心できる体制をつくりたい。

■安全・安心のまちづくりについて

(質問)スタンドパイプ訓練を中学生が行う機会をもってほしい。

(教育長)考えてまいります。

(質問)避難所運営の疑似体験ができるHUGを新入職員や防災推進地区などで研修すべき。

(市回答)来年度、新入職員研修プログラム見直しの中で防災の別カリキュラムを考えていきたい。

■公共マーク普及啓発について

(質問)誰もが安心して暮らせる社会を目指していくために、数多くある公共マークの周知をすべき。

(市回答)障害者週間に合わせて、市報掲載していく。

日本初、認知症チェッカーが導入されました！

最近では、「認知症」関連のニュースが毎日のようにわたしたちに届きます。

いまや認知症は重大な関心事。平成 22 年から取り組みつづけてきた「認知症対策」。これまでも、認知症サポーター養成講座の拡充、認知症に特化した HP 項目の充実などを進めてきましたが、やっと、わたしが認知症の早期発見、早期診断が大切と提案してきた「認知症チェッカー」が 5 月 29 日から市の HP に導入されました。7 月 1 日号の市報の一面にも掲載されています。

わたしが認知症対策に取り組んだきっかけは、父の認知症発症でした。病気に対する知識がなかったゆえに発見が遅れ、介護認定は「要介護4」。いまおもえば「無口になった」「同じものを買ってくる」などの症状がでていました。認知症は薬で進行を遅らせることはできます。それだけに、早期発見できていれば、と後悔の念が募ります。「同じ思いをする人を一人でも減らしたい！」という思いから認知症対策をライフワークと掲げました。

一人でも多くの方が、この認知症チェッカーの活用で、早期発見、早期診断につながることを切に望みます。また、予防にもつなげていきたいと思います。今後も、全力で認知症対策に取り組んでまいります。



(認知症サポーター養成講座)



(公明新聞 6 月 25 日号 7 面掲載)

●認知症簡易チェックサイトには、二つのサイトがあります。

1. 「これって認知症？」家族や介護者向け…身近な人の状態をチェック
2. 「わたしも認知症？」本人向け…自分の状態をチェック(日本初！)

チェック後、点数がでます。結果画面から「相談先」にアクセスすると、国分寺市の地域包括支援センターなどの連絡先、市内で認知症の相談ができる医療機関として、かかりつけ医、認知症サポート医の名簿もみることができ、身近な医療機関でも相談できるようになりました。本人向けには、「認知症予防の10カ条」なども表示され、点数が低いかたにも注意喚起ができます。この本人向けは日本で初めて導入されました。市のHPや携帯電話やスマートフォンからも簡単にご利用できます。パソコンの方は下記の URL をご利用ください。

<http://fishbowlindex.net/kokubunji/>

携帯電話・スマートフォンでQRコード対応の機種をお持ちの方は、右のQRコードをご利用ください。

